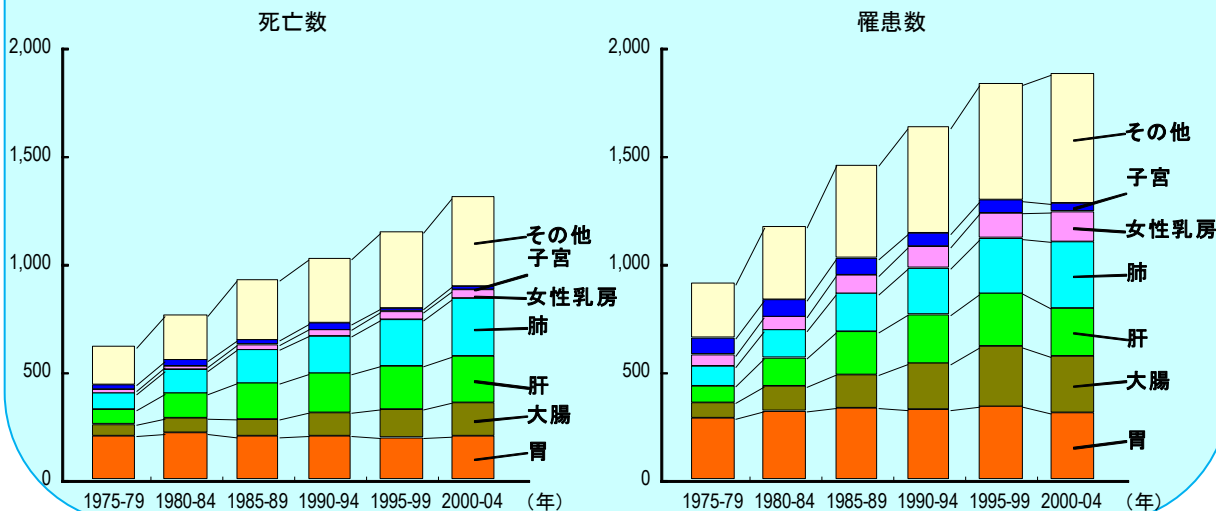


東大阪市の健康診断レポートがん統計ランキング

大阪府内43市町村のいろいろな指標をランキングしました。指標の良好な方から並べ、全体を3等分して上位レベル（1位～14位）、中位レベル（15位～29位）、下位レベル（30位～43位）に分類し、各市町村の特徴をお知らせします。

男性では、胃がん、大腸がん、肝がん、肺がんの死亡率が大阪府内では下位レベル
女性では、大腸がん、肝がん、肺がんの死亡率が大阪府内では下位レベル

東大阪市の男性では、胃がん、大腸がん、肝がん、肺がんの死亡率（年齢構成をそろえた人口10万人あたりの人数）が大阪府内では下位レベル、女性では大腸がん、肝がん、肺がんの死亡率が下位レベルです。また、がんで亡くなる方の数の推移をみてみますと（男女計）、大腸がん、肝がん、肺がんで亡くなる方の数は増えています（下記左図）。がんにかかる方の数の推移をみてみますと（男女計）、大腸がん、肺がん、乳がんにかかる方の数も増えています（下記右図）。



肺がんは、喫煙者が禁煙をすることで、また、受動喫煙防止（施設の建物内禁煙・敷地内禁煙）を推進することで、予防が可能ながんです。
 肝がんは、肝炎ウイルス陽性者が標準的な治療を受けることで予防が可能ながんです。

胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは、がん検診による早期発見・早期治療が可能ながんです。では、東大阪市におけるがんの早期診断割合をみてみましょう。

胃がん、大腸がん、子宮がんの早期診断割合は、大阪府内では下位レベル

